

謹 弔

次の会員がご逝去なさいました。謹んで哀悼の意を表します。

野 中 兼 男 氏 宇部市医師会 8月21日 享年 97

編 集 後 記

県医師会で広報を担当している中村 ^{たかし} 丘です。6月に県医師会理事となり、初めての編集後記を執筆しています。県医師会の広報委員会は月1回開催されていますが、長谷川常任理事をはじめとした委員会のメンバーがテキパキと広報誌の検討等をされています。今回の編集後記は最近参加し、最も印象的であった医事紛争防止研修会についてです。

8月8日は暑い日で、車内の温度計が39℃を示して「壊れた」と思いましたが、実際、この日の山口市の最高気温は38.8℃で過去最高気温と並んだものでした。当日は担当理事ではありませんでしたが、山口県医師会医療紛争防止研修会（Web）に対面参加しました。医療機関における患者とのかかわりの諸問題という題目で、15時より17時までの研修会終盤、日向灘地震M7.1が発生し、地震警報がけたたましく携帯電話から鳴りました。山口市は震度3でしたので研修は揺れが収まって続行されました。

研修内容は2コマの講義で、弁護士法人末永法律事務所の末永久大先生による講義は①カスタマーハラスメントと医療機関、②説明義務問題の変遷と充実のための試案、③医学的には不合理な意思と説明義務の内容であり、大変わかりやすいものでした。

続いて県医師会常任理事・医事案件調査専門委員長の縄田修吾先生の講義は医療事故、過誤についてでした。原告の容認率（勝訴率）は通常訴訟よりかなり低いとされています。通常訴訟より、医療者側が勝訴しやすいという解釈は間違っており、医療者側に責任がなかった判決事例では、患者家族が抱いた医療者への不信感が払拭されないまま、訴訟提起に至ってしまった事例が多く含まれると考えるべきだという講義内容は目から鱗でした。末永先生は研修会終了後、Web研修会では少し（今回は医師会理事3人）でも聴衆がいれば話しやすいと言われていました。講習が終了し急いで萩に帰ると、巨大地震注意が発令されており、終日テレビ放送にくぎ付けでした。

（理事 中村 丘）

自動車保険・火災保険・交通事故傷害保険

医師賠償責任保険・所得補償保険・傷害保険ほか

あなたにしあわせをつなぐ

損害保険ジャパン株式会社代理店
共栄火災海上保険株式会社代理店
山 福 株 式 会 社

TEL 083-922-2551